



Nine Eagles®

SLT™

EDGE 540

NE R/C 760B

Instruction Manual

日本語取扱説明書

5CH3G



NE R/C 760B

✈️ **NOTHING FLIES LIKE NINE EAGLES**

760B 20130830

ご購入頂きましたお客様に重要なお願い

ご購入頂いた際の日付入りレシートや納品書は初期不良交換をさせて頂く場合に必ず必要となりますので、必ず保管くださいますようお願い致します。

当製品は製品の性質上、ご購入直後（2週間以内）の動作確認時に認められる不良以外、交換はお受けすることはできません。あらかじめご了承ください。また、返品はいかなる場合におきましてもお受けできません。

※当製品は予告無く仕様を変更する場合がありますので、最新情報は弊社 WEB サイトでご確認ください。

目次

・目次.....	2
安全の為の注意警告・イントロダクション	3～4
Li-Poバッテリー取扱い上の注意.....	5
送信機の電源を入れる際の注意	6
スペック・重心位置について	7
同梱品一覧.....	7
送信機各部名称	8
送信機と受信機のバインド方法	9
Li-Poバッテリー充電方法	10
機体の組立て方&バッテリーの装着	11
フライト前の確認事項.....	12
スティック操作一覧	13～14
初心者への型への重要なアドバイス.....	15
修理規定について	16
パーツリスト	17

■ イントロダクション

この度はNE R/C 760B EDGE 540をご購入していただき誠にありがとうございます。

EDGE 540は最新の3 Gジャイロが搭載されております、このジャイロは飛行安定性に大きく貢献しスタント飛行や静演技においても優れた操作性を発揮します。

本製品はSLTプロトコルを採用しておりますので、NE 製4CH～6 CH SLT送信機が使用可能です。

またジェネラルリンクを使用していただくことで他社製送信機でも操縦が可能です。

(※全ての送信機での動作を保障する物ではありませんのでご了承下さい)

他社製送信機を使用する場合はサーボリバースの設定に注意してください。

それでは、本説明書を最後までよくご覧いただきフライトをお楽しみください。

文中のアイコン表記について

**WARNING**

注意事項です。必ずお守りください

**WARNING**

重要事項

- 当製品は玩具ではありません。14歳以下のお子様には使用させないで下さい。また、お子様の手の届く場所に保管しないで下さい。
- 飛行に慣れるまでは広い場所での練習をお奨めします。風の影響を受けますので、微風以下の環境で練習して下さい。
- プロペラは回転して大変危険です。飛行中は人の顔や手に回転物が接触しないように安全に飛行させて下さい。特に見物人にご注意下さい。
- 飛行前に必ず各ビスの緩みや脱落がないかを点検して下さい。点検を怠ると最悪の場合、飛行中に部品が飛び危険です。また、激しい着陸や墜落の後は部品にヒビや割れが無いかを確認して下さい。
- 飛行させないときは常に機体からバッテリーを取り外して下さい。そして保管中はお子様に触れさせないように注意して下さい。
- 本機はLi-Poバッテリーを使用しています。この電池は取り扱いを誤ると発火等の危険な事態になる恐れがあります。取り扱い注意事項を守り、安全に飛行をお楽しみ下さい。
- 本機のLi-Poバッテリーは純正充電器、機体での放電のみ可能です。それ以外の機器での充電や放電は絶対にお止め下さい。
- 本機のLi-Poバッテリーの充電は高温や直射日光を避け下さい。
- 本機のLi-Poバッテリーの保管は金属ケースを避け、コネクタ端子がショートしないように保管して下さい。
- 本機のLi-Poバッテリーを分解や改造しないで下さい。

- 送信機と機体、及びLi-Poバッテリーは絶対に水に濡らさないで下さい。
- 本機は他の2.4GHzの無線LAN等のワイヤレス機器と同じ周波数の電波を使用しています。飛行する際は電波影響のない場所でお楽しみ下さい。
- 当製品の性格上、お客様がご使用（飛行）になって起きました結果に付きまして、一切の保証は致しかねます事をご了承下さい。

■安全のために

WARNING 適切な場所でフライトをしましょう

- 木や電線など障害物のない場所が理想的です。安全に飛行させる為に適切な飛行場所を選んでください。
- 人が多い場所での飛行は絶対に避けてください、必ずラジコン製品の飛行が許可されている場所で飛行させてください。

WARNING フライト頂く前に必ずお読みください

NineEagles製品動作確認手順のご案内

【機体破損の有無】

- 1.機体・送信機・付属品が揃っていることを確認し、欠品がないかをご確認ください。
- 2.機体・送信機・付属品に破損がないかどうかよくご確認ください。破損を発見した場合はフライトせずに弊社カスタマーサポートにご連絡ください。

【プロポの動作確認手順】

- 1.プロポの電源を入れ、エルロン、エレベーター、ラダー、スロットル、の各種スティック動かして引っ掛かりがないこと、液晶画面のポテンションインジケーター（トリムポジション表示）がスティックに追従していることを確認します。
- 2.トリムスイッチを操作した時、すべてのトリムが正常に増減していることを液晶画面の数値で確認してください。その他スイッチ類が正常に切り替わることを確認します。

【機体の動作確認手順】

- 1.プロポの電源を入れ、エレベータースティック、エルロンスティック、スロットルスティックを操作し、各操作が機体サーボに反映されているか確認します。機体の電源を入れたら水平な場所に置き、各動翼の向きが正しく動作していることを確認します。その後機体を動かしジャイロの動作確認をします。ジャイロが動作しない場合はモーターを少し回したり送信機CH 5 のジャイロON・OFFがOFFになっていないこと確認し、改善しない場合は一度電源を抜き、リセットしてください。

⚠ WARNING Li-Poバッテリー 取り扱い上の注意 (必ずお読みください)

Li-Poバッテリーは小型軽量で高性能ですが取扱を誤ると大変危険な電池です。
最悪の場合、火災・死亡事故に至る危険性を持つことを十分に理解して慎重にお取り扱いください。
その為に当説明書を必ず最後までお読みになり、注意事項を厳守下さるようお願い致します。

1. 取扱上の重要事項

- ・ LiPoバッテリーを使用するにあたり、必ず正しい取扱い知識を習得してください。
- ・ 設定が正しい充電の場合でも、各セルの電圧のばらつきにより発火する可能性があります。
- ・ 充電は燃えやすいものが近くにない場所で、目を離さないように行ってください。
- ・ 過充電の火災に備えて消火器等を備えてください。
- ・ 充電は必ず付属の送信機または専用充電器をご利用ください。
- ・ 送信機・専用充電器での充電のみご利用頂き、機体以外での放電は行わないでください。
- ・ 本製品は模型用充電式リチウムポリマー電池です。他の用途には使用できません。
- ・ 変形や臭い、変色等の異常を見付けた場合は使用しないでください。
- ・ 電池パックを絶対に分解・改造しないでください。
- ・ 過放電してしまったバッテリーはご使用頂くことができません。放電し過ぎないようにご注意ください。
- ・ 軽い過放電でも繰り返してしまいますとLiPoバッテリーが次第に傷んでいきます。
- ・ LiPoバッテリーは消耗品となりますので、初期不良品以外の交換・返品は致しかねます。

2. 充電時の注意

- ・ 充電中は離れずに常に監視をして、異常事態に対処してください。
- ・ 万一充電中にリチウムポリマーバッテリーが膨れ始めたら直ちに充電を中止してください。(さらに充電し続けると爆発します) バッテリーを外して安全な場所で様子を見てください。
- ・ リチウムポリマー電池にはメモリ効果がないため、放電無しで追加充電するだけで使用可能です。
- ・ 送信機で充電頂く際はスイッチを切っても微弱電流が流れるため、その状態で数時間放置すると過放電になってしまいます。充電完了後は、バッテリーを必ず送信機・USB充電器から抜くようにしてください。
- ・ 充電中は電池と充電器を不燃性の台の上に設置してください。
- ・ 充電器は高温になりますので、火傷にご注意ください。
- ・ 充電が完了したら必ず電池を充電器から取り外してください。

- ・ 充電前に電池をよく確認して、少しでも膨らんでいる場合は、ダメージを受けている恐れがありますので、絶対に充電(使用)しないでください。
- ・ 充電は電池温度が0~35度の範囲で行ってください。

3. 機体がクラッシュ(墜落)した場合

- ・ 墜落や衝突で電池が強い衝撃を受けた場合、膨張発火の恐れがありますので、発火しても火災にならない場所に暫く放置して様子を見てください。
- ・ 強い衝撃を受け、内部構造が変形した電池や、被覆が破れた電池は使用できませんので適切に破棄してください。

4. 電池の保管・保存

- ・ 必ず丈夫なケースに入れて保管し、コネクタの端子間がショートしないように注意してください。
- ・ 電池のラミネート被覆は絶対に穴を開けないでください。発火の恐れがあります。
- ・ 保存可能温度は-20~60度ですが、性能を保つためには10~50度の範囲内の乾燥した場所に保存してください。25度での保存が最も性能劣化を防げます。
- ・ 車内など60度以上の高温状態で放置すると発火する場合があります。
- ・ 長期保存の場合、少なくとも6ヶ月に一度は充電→放電→保存充電を行い、性能を維持してください。
- ・ 電池から液が漏れていた場合、直接手を触れないでください。
- ・ 満充電で放置しないでください。気温が上昇した場合は電圧が上がり、過充電状態になり電池が膨らみ危険です。保存する場合は50~70%程度の充電量で保存してください。

5. 電池の運搬・廃棄

- ・ 電池の運搬中は電池表面に力が掛からないようにケースに入れて運搬して下さい。
- ・ 電池を破棄する場合は約2日間、5%程の食塩水に浸してください。電池が完全に放電され不燃物として破棄することが可能です。
- ・ 絶対に火の中に投じないで下さい。破裂します。
- ・ 電池をリサイクルする場合は、詳しい方法をお近くのリサイクル協力店様にお問い合わせいただき、適切に行ってください。

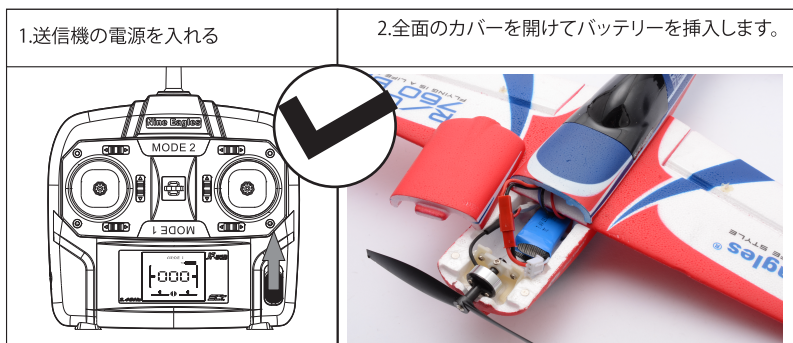


重要!! 送信機の電源を入れる際の注意

送信機の電源を入れるときはスティック位置のキャリブレーションを自動で行いますので、必ずスティックは下記の位置にした状態でスティックに触れないように送信機の電源を入れて下さい。

また、機体にバッテリーに差し込んだ後は、速やかに水平な場所に置き、ジャイロが正しく認識するまで触れないようにしてください。

1. スロットルスティックは最スロー（いっぱいまで下げる）
2. エルロン・ラダー・エレベータスティックは中立位置



※スティックに触れた状態で電源を入れると、各舵のニュートラル位置が大きくズレてしまい、機体は転がって制御不能になります。

またスロットルトリムが中立以下になっていることも確認してください。

■ 電源を切る際の注意

フライトを終え、電源を切る際は上記手順とは逆に、機体側LiPoバッテリーから外します。この手順を守らず、送信機から電源を切ると思わぬ動作をする場合がありますので、十分ご注意ください。

※バッテリーのコネクタを接続したままにすると、バッテリーが過放電となり使用できなくなる場合があります。使用しない時は必ずコネクタを抜いて下さい。

製品スペック

Model No:	NE R/C 760B	Flying weight:	78g
Wing span:	430mm	Power System:	1809 Brushless motor
Overall Length:	400mm	Battery:	7.4V 250mAh Li-Po

製品付属品一覧



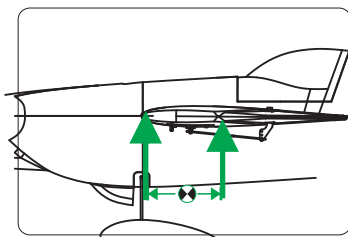
BNF single Aircraft Description	QTY
EDGE540 NE-R/C 760B	1
Adapter	1
Charger	1
Blades	1
J5 Transmitter	1
Li-Po Battery	1

※仕様変更・製造ロットにより、内容が変更になる場合がございます。

※当製品は送受信電波に「SLT™プロトコル」を採用しています。このため、これまでの NineEagles 製品（Sky Surfer や Sky Runner, Sky Climber など）とは互換性がありません。このため、これらの機体と当製品に付属の送信機はバインドできません。

重心位置について

- EDGE 540の重心位置は主翼前縁から 2 4～2 6 mmの位置です。

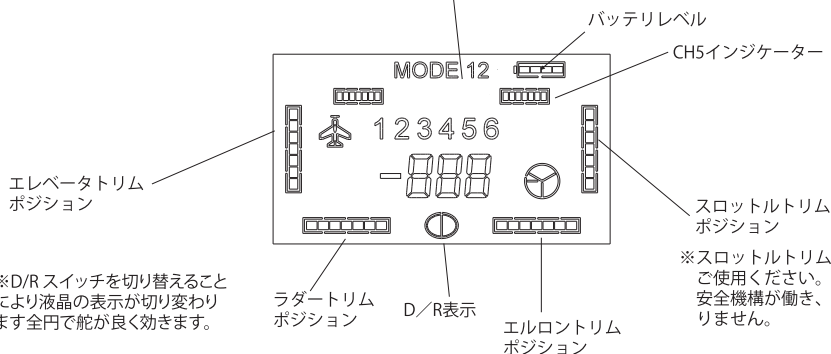
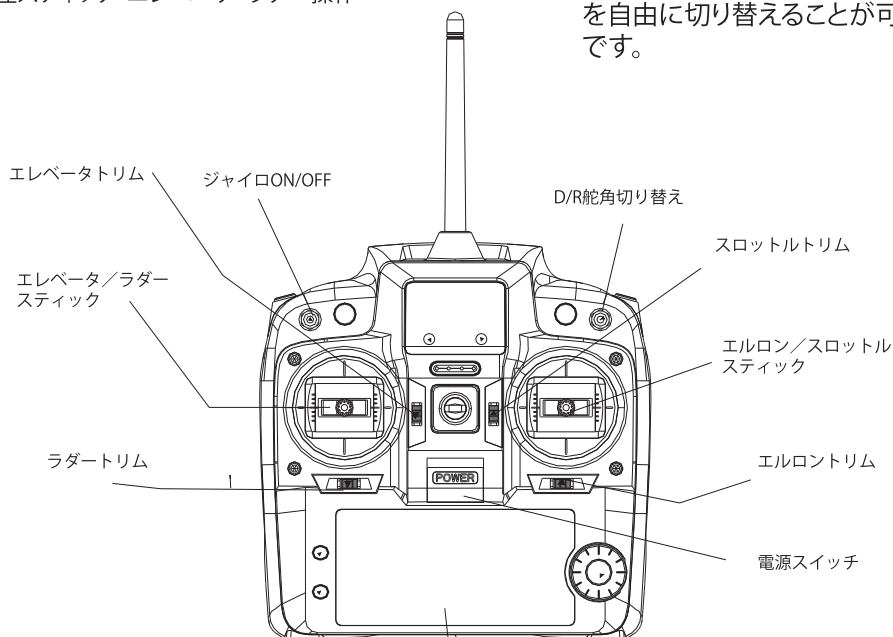


送信機各部名称 (モード1)

出荷時は日本仕様の【モード1】の設定となっております。

- ・右スティック: エルロン・スロットル操作
- ・左スティック: エレベータ・ラダー操作

※送信機裏の裏蓋を外しスイッチを切り替えることでモードを自由に切り替えることが可能です。



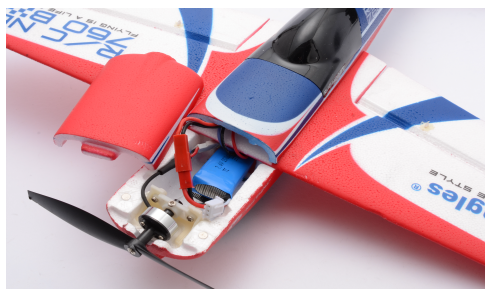
送信機と受信機のバインド方法

送信機は1台1台独自のIDを持っています。この送信機のIDを受信機に登録する作業を「Bind (バインド)」と呼びます。工場出荷時にはこの作業は済ませてあります。

手持ちの送信機で他の機体を操縦する場合や他の送信機に機体を合わせる場合、そして受信機ユニットの修理などを行った際にこの作業が必要となります。

※稀にバインドが切れる場合もあり、その際もバインド設定が必要になります
等機体はオートバインドとなっておりますの基本的に電源を入れるのみで完了します。

- 1.まず送信機の電源を入れます。
- 2.機体にLi-Poバッテリーを挿入し、コネクターを接続します。
- 3.この状態で機体を水平な場所に置き30秒程待ちます。
- 4.送信機のスロットルスティックを上げて機体のモーターが回ることを確認します。
- 5.機体と送信機の電源を一旦OFFにして下さい。



※最初のバインド時は多少時間が掛かります。



バインド時の注意点!

バインド作業は送信機・機体を10cm程度に近づけて作業して下さい



ご注意:バインド作業を行う際には他の2.4GHz送信機や機体の電源をOFFにします。
また、無線LANやBluetooth等の機器からも離して作業して下さい。

送信機用乾電池の取り付け



送信機裏にあるカバーを外し8本の単三乾電池を極性に注意しながら挿入します。電池ボックスは写真のように挿入してください。完了後蓋を締めます。

バッテリーの充電



4 mmプラグを充電器に差し込みその反対側の端子を家庭用の100Vコンセントに差し込みます。



充電器に電源を供給し充電の準備完了すると赤色LEDが点灯しピープ音が鳴ります。バッテリーのバランスコードを充電器に差し込むと再度ピープ音が鳴り緑色LEDが点滅します。

充電が完了するとピープ音が鳴り緑と赤色のLEDが点灯します。

⚠ 重要な注意事項 Li-Poバッテリーは取り扱いを誤ると発火する恐れのあるバッテリーです。下記の指示を必ずお守りください。

- 純正充電器または送信機以外では絶対に充電しないでください。
- 他の種類のLi-Poバッテリーは充電しないでください。
- 気温35度以上では充電しないでください。
- Li-Poバッテリーのラミネートカバーが膨らんでいるバッテリーや甘い臭いがするバッテリーは充電しないでください。
- 安全の為に充電中は部屋にいて異常事態に対処してください。
- 電池を保管する場合、電池寿命の為に残量がゼロの状態や満充電状態を避けてください。
- 過放電(バッテリーを完全放電すること)しますと、ご使用頂けなくなる場合があります。十分ご注意ください。

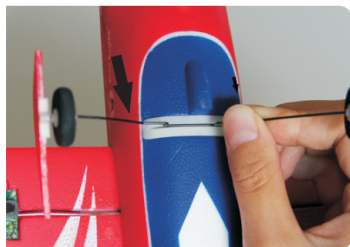


過放電とは

長時間に渡りフライトを行い、バッテリーのエネルギーを多く使ってしまうこと。
LiPoバッテリーは過放電によりダメージを受け、最悪使用できなくなります。

機体の組み立て方&バッテリーの装着

1. 主脚を取りつけます。EDGE 540は前方に突き出す形で主脚を奥まで差し込みます。



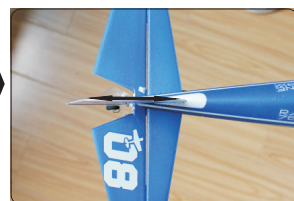
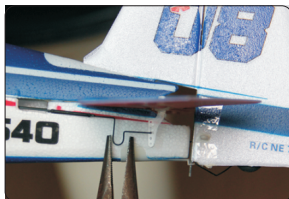
2. 全面のバッテリーカバーを外しバッテリーを挿入します。



ご注意!! フライト前の確認事項

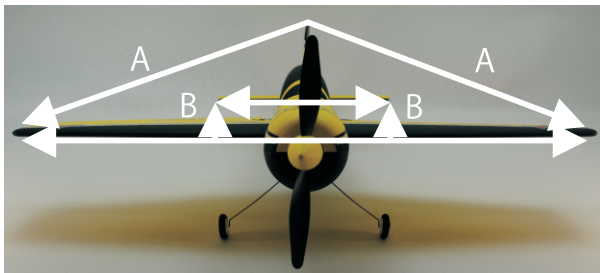
上記写真の通り、送信機のトリムを中立とした際に、エレベーター・ラダーが中立となるようにリンクエジロッドをペンチなどで調整してください。

(工場出荷時に調整済みですが、若干ズレている場合もあります)



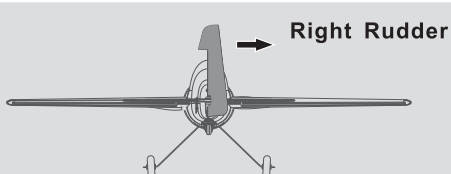
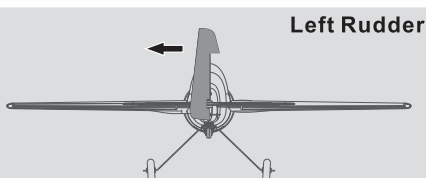
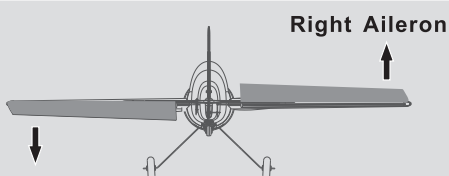
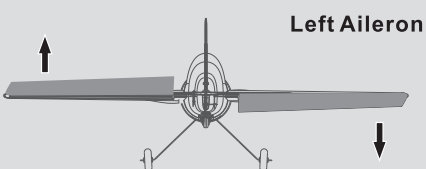
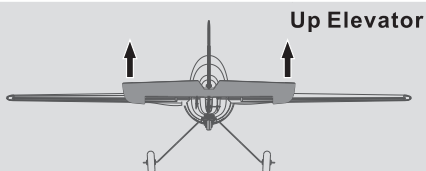
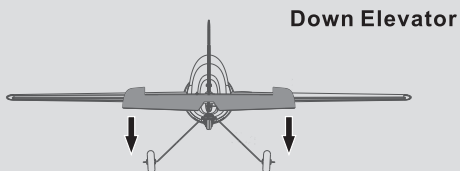
A同士・B 同士の距離が同一か確認します。

※主翼のねじれも無いが良く確認してください。



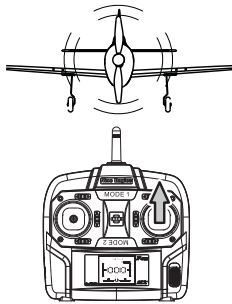
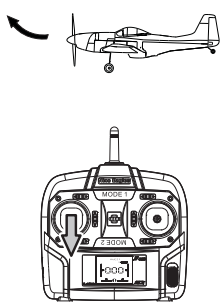
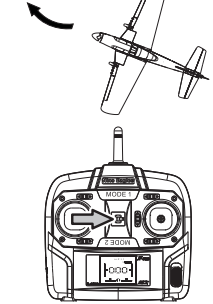
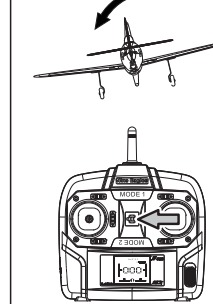
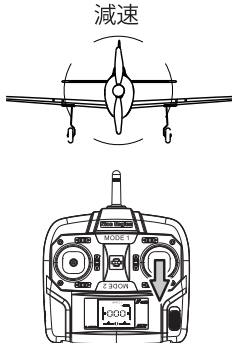
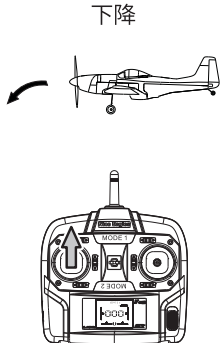
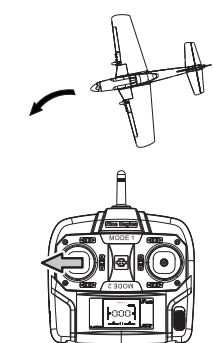
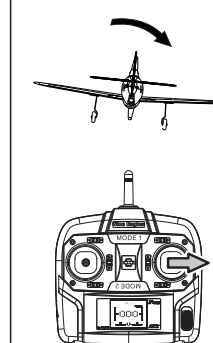
- 本製品は 3 Gジャイロが搭載されているため、飛行の際はメイントリムを使用し調整しないでください。
- 必ず飛行前に機体のジオメトリーを確認してください。これが狂っていると機体は正常に飛行できなくなり墜落してしまいます。慎重に確認してください。
- 機体の材質は発泡スチロールなので夏場車中に放置すると高温で変形する事があります。この場合はドライヤーで加熱すると修正できます。

スティック操作一覧



スティック操作一覧

送信機のスティック操作で機体は下図のように操縦できます

Mode 1			
スロットル	エレベータ	ラダー	エルロン
<p>加速</p> 	<p>上昇</p> 		
スロットル	エレベータ	ラダー	エルロン
<p>減速</p> 	<p>下降</p> 		

ジャイロのON/OFF設定

当製品はフライトスタイルに合わせデフォルトで割り当てられたCH 5 スイッチを使用しジャイロ機能をON・OFFさせることが可能です。他社の送信機をご使用の場合は任意のスイッチにCH 5 を割り当ててください。

4 CH送信機をご使用される場合はジャイロ機能は常にONとなります。

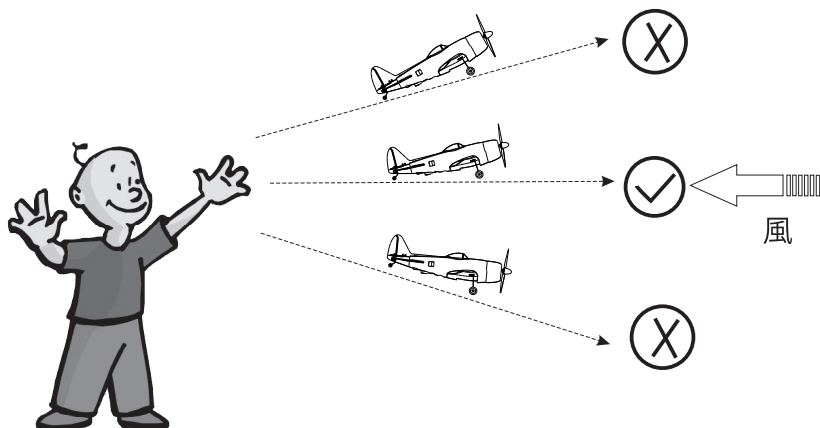
Channel 5



初心者の方への重要なアドバイス

手投げテスト

- 初飛行の前にモーターを止めた状態で風上に向かって機体を真直ぐに軽く投げて様子を見ます。機体に大きな狂いがあると機体は真直ぐ飛びません。



- 次に手投げ飛行をする時はスロットルは70%の位置で投げてください。この機体はハーフスロットルで十分に水平飛行が可能です。パワーを入れすぎますと機体は暴れて操縦が難しくなります。
- 操縦に慣れていない場合はあまりスティックを大きく倒さずに大きな旋回をするように心掛けてください。また旋回は風上に向かって旋回するのがお勧めです。
- 初飛行の時はできるだけ経験者に指導を仰いでください。また風の強い日（3m以上）は風下に流されやすくなります。
- 1フライトごとに必ずモーターを自然冷却させて下さい。連続フライトさせるとモーターの劣化が早まり、交換が必要となります。

※ 激しい着陸をした時にプロペラが外れている場合があります。
紛失しないように注意してください。

新品交換保証について

万一機体が大破してしまった際、弊社では定価の約半額で新品に交換できる「新品交換保証」制度があります。

「新品交換保証」を適用させて頂くには、弊社で販売されたことを証明する「元箱」・「日本語説明書」・「機体など付属品一式」を弊社へお送りください。その際、【修理依頼票】にご記載頂けますようお願いいたします。

新品交換保証とは？・・・定価の約半額で全く新しい商品をお送りする制度です。破損してしまった場合、修理金額が高額となる場合、新品交換保証を適用させて頂く場合もございます。あらかじめご了承ください。

新品交換保証額

RTFキット 15500円 (税抜)

修理・サポートについて

お求めいただいた商品にトラブルが発生した場合や技術的なご質問がある場合はまず弊社WEBサイトのQ&Aをご覧いただいた後、販売店様または弊社カスタマーサポートにお問い合わせください。

また、弊社サポートページにはトラブル解決のためのヒントがあります。

<http://www.hitecrd.co.jp/support/>

修理サポートをご要望の場合は、別紙の「故障かなと思ったらお読みください」をご覧頂き、弊社まで商品一式をお送りください。お電話またはお問い合わせフォームをご利用頂くことで解決できる問題も多くございますので、トラブルがあった際はお送り頂く前に弊社カスタマーサポートまでご連絡頂けますようお願い致します。

スペアパーツにつきましては弊社オンラインショッピングや機体をご購入された販売店様にてお求めいただけます。

お近くの販売店様をお探しの場合は弊社HPのお取り扱いショッパー一覧をご覧ください。

<http://www.hitecrd.co.jp/shop/>

EDGE 540 パーツリスト

No	Item No	Product Name
1	NE450110	フレームセット (Eage540 red and blue)
2	NE450111	ウイングセット (Eage540 red and blue)
3	NE450112	水平尾翼&垂直尾翼 (Eage540 red and blue)
4	NE450113	ランディングスキッド
5	NE450117	モーターフレーム
6	NE450114	リンクージロッドセット
7	NE401777006A	アジャスタブルホーンセット
8	NE480312	モーターセット
9	NE450115	スクリュースセット
10	NE480297	リポバッテリー
11	NE480294	リニアサーボセット (for tail)
12	NE480313	リニアサーボセット (for aileron)
13	NE480289	レシーバーセット (SLT)
14	NE450116	プロペラセット (red)

Nine Eagles

www.nineeagle.com



◎輸入販売元・お問い合わせ

〒133-0057 東京都江戸川区西小岩1-30-10 1F

株式会社 ハイテック マルチプレックス ジャパン

Nine Eagles 専用ダイヤル:03-6458-0191

受付時間:月曜日～金曜日(祝祭日・夏期休暇・年末年始を除く)

10:30～12:30、13:30～16:30

Web Site : www.hitecrd.co.jp

当製品のお問い合わせはカスタマーサービス専用ダイヤルまでお願い致します。

お電話でのご注文は承る事ができませんので予めご了承の程お願い致します。

Copyright © 2013 Hitec Multiplex Japan, Inc. All Rights Reserved.